

令和5年度事業計画(案)、収支予算(案)を承認



通常議員総会で開会の挨拶を行う八木会頭

通常議員総会を3月31日午前11時から福井商工会議所ビルで開催し、82名(委任状を含む)が出席した。

開会にあたり八木会頭は、満開に咲き揃う桜について触れ、足羽河原や福井市中央公園などを会場に開催される「ふくい桜まつり」への来場を呼び掛けた。

一方、新型コロナウイルスの感染防止対策として推奨されてきたマスクの着用が、個人の判断に委ねられたことに関して、国内の訪問先では海外からの旅行者がマスクを外しているのに対し、日本人の大半がマスクを着用しているというエピソードを紹介。今後はマスク無しの生活スタイルへの転換に期待感を示した。



最後に、3月26日に開催された「ふくい桜マラソントライアルラン」について、全国から4千名超のランナーが参加し、プレ大会として大きな役割を果たしたとの認識を示した。その上

次に、3月7日に福井経済同友会代表幹事の林正博氏(当所副会頭)らとともに(株)そごう・西武の本社を訪問し、西武福井店の存続に関する要請を行ったことを紹介。林拓二社長からは「福井店の営業は継続し発展させていきたいと考えている」との回答を得たことを説明。「今後も福井店を含めた中心市街地の活性化に引き続き取り組んでいきたい」と述べるとともに、議員に対して協力を呼び掛けた。



新年度の事業計画(案)を説明する嶋田専務理事

で、県内初のフルマラソン大会として来春に開催される「ふくい桜マラソン2024」に向け、「多くのランナーを迎えるにあたり、おもてなしの準備をしっかりと進めたい」と意気込みを述べた。

続いて議案の審議に移り、福井商工会議所令和5年度の事業計画(案)について、嶋田専務理事から今年度の重点テーマである「変化・進化し続ける地域づくり」、「事業変革の挑戦をサポート」、「福井商工会議所の組織・機能強化」の項目ごとに説明が行われた。(令和5年度の事業計画の詳細については8〜11頁をご参照ください)

引き続き、藤川理事が令和5年度の収支予算(案)の説明を行い、両議案とも全会一致で可決された。